資金助成先選考方法について
（コムケア活動２００３）

[選考方法]

応募件数によって、一部変更することがあります。

受理時チェック

申請書受理時に内容を確認し、受理通知に併せて、必要があれば内容や表現に関するアドバイスを行う。

8/13～

書類による予備選考

申請案件を先着順に約５０件前後の単位にまとめ、その単位ごとに予備評価チームを構成して、書類選考する。選考は選考基準による採点方式とし、得点の高い案件を各２０件程度選ぶ。評価チームの構成は次の通り。

過去の資金助成団体有志による選考委員
コムケア活動に関心を持っているコムケア応援団
コムケアセンター事務局スタッフ

9/1

予備選考会

各評価チームの結果を踏まえて、事務局で全体としての予備選考通過の５０件を選ぶ。

9/12

選考委員評価会

予備選考によって選ばれた５０件を対象にして、書類で選考委員にそれぞれを評価してもらい、その結果を持ちより、評価会でそれぞれの内容を吟味する。

9/16

最終絞込み

選考委員会の評価を踏まえて、テーマや地域のバランスなども考慮し、事務局として最終選考候補３０件を決定する。

10/10

公開最終選考会

３０件を対象に、各申請者から公開の場でプレゼンテーションしてもらい、参加者の投票により最終的に１５件を選ぶ。選考会に先立ち、効果的なプレゼンテーションのためにリハーサルを行なうことも検討。

なお、選考過程はホームページでできるだけ公開していく。選考結果はホームページで公開。

[選考基準]

選考に当たっては、次の点を参考とするが、「大きな福祉」の視点から、プロジェクト全体の意義を考え、総合的に判断する。

① 社会性：本プログラムで定義するコミュニティケアの理念に沿っていること
② 先進性：これまでなかったような新しい要素が含まれていること
③ 発展性：一過性のものではなく、継続的であり発展が期待されること
④ 汗のかき具合：お金で解決しようとしていないこと
⑤ 支援の必要性：支援することが実現の不可欠な要素であること

■